

JW解約⑦ 番外編 意味もなく長いです。
森林伐採に繋がるので**プリントしないでください**。
あと、古い雑誌や製本はリサイクルしましょう。

『笑わせてくれますね、背教者！』

背教者の矛盾を暴いてさしあげます逆襲編

付録:エホバの証人図解付！

大幅にバージョンアップ！

~~真理 真~~

熱心 学

v.1e 12/07/2007

はじめまして。

放火学会、じゃなくてエホバの証人の熱心な現役の
熱心学 (ねっしん・まなぶ) と申します。

真(まこと)兄弟が皆さんに背教的な事ばかりをいうので、
今回はこの私が皆さんを**霊的に励ましたい**と思います。

皆さんもこういうサイトばかり見ているとサタンに
惑わされますよ。本当です。どんなに真実に見えても
それはサタンです。**サタンは事実さえも利用しますから。**

もちろんネットにあるのは皆事実じゃなくて**ウソ**ですよ。
あたりまえじゃないですか。
ネットは背教者ばかりですから。

今回は廃墟者...じゃなくて背教者(わざと間違えました)がいかに間違っているかを徹底的に私が論破します。

背教者は根拠のない証拠を取り上げて矛盾した事ばかりいいます。

その上彼らは狡猾で根はサタンです。しかも！
時々エホバの知恵を凌ぐぐらいズル賢い事をいって
クリスチャンを引きずり落とします。

しかし全てのクリスチャンは「全ての根拠」を確かめてからどれが真の宗教か決めるべきです。
もっとも、背教者の根拠を調べてはいけません。

サタンですから...

真理 真の奴に、ちゃんとこの資料を読んでもらいたいです。
あいつは「自分の信条と違うものは読めない」とか
アホなことを抜かしていますから！！

背教者なんていうのはみんなとんでもない奴ばかりです。

まず彼らはとても**傲慢**です。その証拠に彼らは
常に彼らの方が正しいといひはります！ほらね。
でもそれはまずありえないです。

だって**正しいのは私たちに決まっています**から。

しかも彼らは**狡猾**です。

真理を持っている私たちを簡単に惑わします。

**私たちが彼らを惑わして真理に導く事はできませんが、
彼らが私たちを欺いて真理から出すのは簡単です。**

真理では打ち勝てないところが悔しいところです。

でも仕方がないです。サタンが彼らについているので。
でも大丈夫、私たちにはエホバがついています。

天国でも多分サタンはエホバを惑わそうとしているに
違いありません。皆さん気をつけてください。本当に。

背教者がサタンの的である証拠がまだあります。

彼らはなんと！

神とイエスを信じていて聖書も信じているのですが、
ものみの塔の教理だけは受け入れないのです！！
イエスが言っていた「反キリスト」とはこのことです。

しかも厚かましいことに、**エホバの証人のスキャンダルを
でっちあげます！！**彼らの背教行為はする賢いです。
神の組織は問題があればかならず隠さないで
信者に教えてくれます。といっても問題が起きるわけではありません！

彼らはなんとニュースのネタを仕込んでウソばかりいいます。
しかも！**過去の出版物から古い教理を根拠に引っ張り
出してきて、いかに組織がウソをついてきたかと主張します。**

出版物の記事は本当ですが、彼らの根拠はデタラメです。

そうです、**背教者のくせに出版物を信者より熱心に調べて、組織のあら探しをします。**ずいぶん昔の教理を引っ張ってきてそんな事を言うのです。

例えば！1995年に「**世代**」の定義が変わったといって鬼の首を取ったかのようにいいます。

預言の成就の期間が変わったっていいじゃないですか。

2007年の5月号の雑誌をとりあげて「**1935年**」が変わったと大声で騒ぎます。**別に初穂である天的級がいつ集め終わろうかと、かまわないじゃないですか。**

彼らはどうせ天にいけないのですから。

あ、でも彼らはバビロンなので、死んだら楽園じゃなくて天国に行くと思っているんですけど...ハア。

教理なんていうのは新しい光が出た時点でそれまでの、すぐに古くなるんです。

古い光にイチャモンをつけるなんて、やっぱり背教者です。

もしかしたら背教者の主張の方が当たっていたこともあるかもしれません。例えば終わりの「世代」の解釈とか...。
でも**彼らはエホバを待てない性急な者たちです。**

組織も過去に預言を外した事があります。
でもそれは組織が性急に語ったからではありません。
エホバは時々、ご自分の僕が間違った理解を持つ事を許されます。

エホバが定めた時までは分からない事もあります。
でも時がくればエホバは正してくださいます。
でも今はとりあえず今ある理解を語る事が大切です！

もちろんエホバが背教者を正すことはありません。
彼らはエホバを待てないからです。

皆さん、エホバの名において性急に語ってはいけません。
それが起こらなければエホバのみ名に傷がつきます。

そもそも、**たとえ教理が現時点で間違っているでもいいんです。**

なぜなら私たちには真の宗教であるしるしの
「愛」があるからです。

他の教会の人たちにはみんな愛がありません。
だから平気で中傷をしたりウソをつきますよ。
中には少しだけ良い人もいるかもしれませんが、
その人たちはいずれエホバに導かれるでしょう。

なんとって私たちは**霊的パラダイス**にいます。
みんな愛ある人たちばかりです。

**もちろん会衆には噂話ばかりや、批判的な人や、ひがむ人や、
義に過ぎる人や、愚痴ばかりの人も沢山います。**

でもそれは人間、不完全だから仕方ないです。

他の教団だって同じですよ....。

あのね、ものみの塔が幼児虐待問題を隠蔽する
なんていっているニュースは全てサタンです。
サタンがエホバのみ名を貶めるためにやっていることです。

ニュースなんて信用してはいけません！！
でも、他の教会のスキャンダルなニュースは信用できます。
なんたってサタンの宗教ですから。
サタンがなぜニュースを利用して自分の宗教の名を
貶めるかって？
なんたってサタンですから何でもやると思いますよ。

ニュースにもサタンにも惑わされないで下さい！
例えニュースでハルマゲドンが来たといっても
信じないでください！ **サタン**ですから。
え？ではいつ来るかどうかやって知るのかって？
あなたさっきから反抗的な精神を示していますね。

それともう一つ！

私たちはちゃんと宣べ伝えて**います！！**

ドアからドアへ伝道をしているのは証人たちだけです。

創価学会も熱心にやっていた時期がありましたが、それはもう70年代の事です。彼らは今でも裏で一軒づつツボを売りつけにくるだけです。モルモンもやっていますが、**信者のみんながやっているわけではありません！！**

信者みんながやってこそ真の組織です。

あ、**もちろん組織の中にも活発な人や奉仕時間の少ない人もいますがそれは違います。**

奉仕時間が少ない人たちには牧羊訪問を通じて尋問し、会衆を通じた無言のプレッシャーを与えて彼らが野外に戻るようになります。

野外はとても重要で、仕事とか大学いつている暇はありません。

そうです、私たちエホバの証人は伝道こそが生きる道です。
ですから全時間の仕事をする必要はありません。さらに、
私たちには社会的義務を果たす必要はありません。

私たちは若くてちゃんと働ける能力はありますが、
年金や健保を払う事は重要ではありません。
私たちはこうやって立派な人生を歩んでいるのに、未信者のご主人さんたちが受け入れてくれないのが不思議です。

証人たちも日本の裕福な社会の恩恵に受けています。
世の人たちが汗水流して払っている税金の恩恵に
預かっています。生活保護を受ける事もあります。

しかし**エホバは不義の富をも用いるとあります。**
ですからエホバこそが賞賛されるべきです！！

不義の富といえは末信者の夫が稼いでくるお金もそうです。

おばさん姉妹たちは**ダンナさんの稼ぎを寄付箱に入れます**。
そしてダンナさんの稼ぎのおかげで空いている時間を
奉仕時間にあてています。
ダンナさんの稼ぎで3度のご飯を食べています。
そして集会用の洋服や靴などを買っています。

でもこれら全てはエホバに感謝です！！！！

エホバが備えてくださったのです！！

だから例えダンナさんの稼ぎで神権活動が賄われていても、
ちょっとでも批判発言をすれば**サタン呼ばわりされても**
仕方がないのです！

最も最近では末信者の家族も連帯責任でラハブの家族の
ように助かるかもしれませんといわれていますがね。

もう一つ重要な点があります。
子供はエホバからの授かりものともいう時もあります...が、

終わりの日に子供をつくるなんて災いのもとですから
楽園待ちです。乳飲み子がいると大艱難の時に困ります。

もちろんパートなので、経済的余裕もないのも事実ですが。
しかしいざとなればエホバが助けてくださいます。

真兄弟は、証人たちは社会の負担になっているといえます。
日本は少子化や、医療費用の借金等の問題を促進していると。
本当に信仰の弱い真兄弟にはがっかりさせられます。

全てはエホバが解決して下さいます。
ですから、わざわざ私たちがこの**サタンの世**で
問題を解決しようとか、国の負担を軽減しようとかを
考える事は必要ではありません。

後、とても腹に立つのですが、真兄弟は私たちの事を
「フリーターの走り」だといいます。とても失礼です。

私たちは王国のために自己犠牲ゆえにパートの仕事をしているだけです。本業は奉仕です。

全時間の仕事はサタンの罠に陥りやすくなります。
物質主義、道徳基準のない世の人からの誘惑、
浮かれ騒ぎ、昇進などの責任等、気をつけないといけません。
集会も**100%参加しよう**と思うと、派遣かパートになるのはあたりまえです。

だから親からの援助を受け入れるのは懸命な事です。
**30代になっても、結婚しても親といっしょに住んだり、
生活の援助をしてもらう事は王国第一の証です。**

しかし、なんだかんだいってもこれだけは覚えておいてください。
イエスは狭い門を通りなさいとおっしゃいました。

だから**真理に至るのは本当に少人数です。**

バビロンは人類の大半を騙して多くの信者を抱えています。

証人たちの人数が少ない事こそ真理の証です。

ノアの洪水だって救われたのは8人のみです！

また、私たちは同じ音信を世界中で宣べ伝えいます。

中には宣教者を他国に送り込んでいる教会もあります。

しかし、同じ業に一番多くの人間が携わっている
のはエホバの証人だけです。

真理だからこそ一番大きな組織を持っています。

例え証人たちの教理が間違っていたとしても、
全ての国々で「同じ音信」を宣べ伝えている事が重要です。

プロテスタントとかも伝道している団体は色々ありますが、
同じ音信ではないので真の宗教ではありません。
同じメッセージを全ての国に宣べ伝える事が重要です。

それでいうとカトリックは証人たちよりも遥かに効果的に
大規模で同じ音信を宣べ伝えてきました。

どの国の人々も必ず三位一体の教理を信じています。

同じ教えを世界中に浸透させる業を行うなんて
サタンは巧みです。

証人たちは聖書を愛しています。

組織の教理は聖書に忠実なので私たちは信頼しています。

神の言葉は不変です。従って真理も不変です。

確かに過去において組織は様々な聖書に関する
預言の解釈を変えてきました。

しかし教理は時に応じて変わります。

神が必要に応じて聖書に対する理解を変えられるからです。

私たちは聖書に書かれてある事に忠実であるべきですが、
場合によっては奴隷級がエホバから靈感によって受けた
出版物の教義の方が優先されます。

奴隷級は神からの靈感を受けています。

現代では神からの奇跡は起きませんが、統治体が
会議で共に聖書を調べ、祈ることによって真理が得られます。

しかし信者が独自に祈っても靈感を得られることはありません。
むしろ信者だけで祈って聖書だけを使って研究すると
背教的な教えに誤導されてしまいます。

そうです、私達の信条は聖書に基づいているのですが、
聖書だけを使って神の言葉を研究すると
真理から離れてしまいます。

サタンは本当に巧みです。私達が正しいと思うことをすると
真理から反れるように仕組んできます。

モルモン教は自分たちの出版物を使わないと、聖書を理解することはできないといいます。そんなのウソです！

聖書は全人類のためにかかけられました。

1世紀当時から全ての時代、国の人にとって
必要な事柄を全てエホバは聖書に記されました。
ですから聖書を正しく調べれば真理は一致します。

組織は私達が聖書を正しく調べられるように
沢山の出版物を用意してくださいました。

ですから私達は聖書を理解するために協会の出版物を用いるべきです。ラッセルが出てくる19世紀まではこれらの出版物がなかったからこそ、**多く人は聖書に書いてある事柄では不十分な理解しかできませんでした。**

聖書だけは不十分なのです。

神の組織である以上は私たちは全ての国で伝道します。
そのために全ての国で信条の自由が認められるべきです。

信仰の自由を保障してもらうためなら私達は
最高裁判所の法廷でも戦います。

クリスチャンは信仰の自由のために戦います。

しかしもし私達の家族、仲間が私達と同じ信条を捨てるので
あれば、それを認めるわけにはいきません。

私たちと同じ信条を持たない人間はサタンと同じです。
サタンまでとはいいませんが、私達は絶対に彼らと
しゃべったり挨拶をすることはしません。

エホバは信仰の自由を認めておられないからです。

勘違いしないでください。

私達はご近所や同僚の方たちの信条を尊重します。
もちろんドアをノックして信仰の押売りに近い事はしますが、
私達と他の信条を持った人々を受け入れます。

しかし私たちは自分たちの信条から離れた背教者だけは
許すことができません。絶対に受け入れてはいけません！！

イエスは地上に人を裁かれるために来られたわけでは
ありません。また最終的な裁きの時はハルマゲドンの時です。
それより前に**私達人間が他人を裁いてはなりません。**

とはいえ背教者は裁きが確定しています。

だから私達は挨拶すらしません。無視します。

彼らはエホバに滅ぼされる事が決定しているからです。

私ではなく聖書がそういっています！！！！

エホバの愛は素晴らしいです。

エホバの愛は無条件です。

聖句にもあります。

「良い事をする^と祝福は1,000代まで、
悪いことをすると呪いは3代まで」です。

そうです、呪いはたったの3代までです！！

エホバの愛に条件はありません。

**エホバの組織に属してさえいれば
エホバからの愛が沢山あります！！！！**

しかし統治体と出版物を受け入れないのであれば
条件を満たしていないのでエホバからの愛はありません。

あのマザーテレサでさえ不義の復活だと思えます。

そうです、エホバの証人はエホバからの祝福により
「**義の復活**」があります。

ソロモンなどのように不道徳で背教した者は
「**不義の復活**」しかありません。

もともとソロモン程不道徳でなくても、今の世の人たちは
不義の復活すらありません。ハルマゲドンでの滅びのみです。
(エホバのみ業は偉大ですから私たちには理解できない事も沢山あります。)

もちろん同じ楽園に入るのであれば「**不義の復活**」で
入るよりは「**義の復活**」で入った方がいいです。

とはいえいずれは皆、平等に千年後に第二の裁きで
砂粒のように多くの人脱落しますが...

しかしこれもエホバの愛ある取り決めです。

現代の証人たちはハルマゲドンを生きて通過します。
そして私たちは「命の巻物」を生産する工場で労働を続けます。
さらに毎日、不義の復活者に対する伝道で忙しいです。
そして少数ながら選ばれた私達は新人類を代表として、
生き残った同じ配偶者と共に一生懸命に子供をつくります。
もちろん時々時間があれば、動物をなでる事もできます。

一方、**不義の復活**の者たちは、み使いのように結婚は
できないし子供もできません。どうせ不義な者たちなので、
避妊なしでやりたい放題に乱交をしたいと思います。
さらに彼らは伝道活動もしないでしょう。
寿命も最低1,000歳までは保証されるので、遊びたい放題です。

しかし私たちは最後の裁きで彼らが裁かれるのを期待できます。
エホバは公正だからです。(そうでないとやってられないです。)

とにかく、真兄弟がなんと言おうとこれだけは言えます。

証人たちは世の中で一番幸せな人々です。

私たちは真理を知っているのでもいつも幸せです。

会衆の半分は**うつ病**や**慢性疲労症候群**を煩っていますが、
そんな事は気にしないでください。もっと奉仕に出て
個人研究をすれば改善されます。

家族が崩壊していて、**子供が引きこもり**で心配していません。
未信者の**夫と家庭内別居状態**でも大丈夫です。

大会の経験談は「不幸比べ」大会に近いです。

しかし真理ゆえにどんなに苦勞が多くても、

私達は奉仕に出ているれば

世俗の問題を忘れる事ができるのです！！

私達は背教者の言うことには一切耳を傾けません。
私達の信条とは違う事を勧めるからです。

しかし私達は区域を回り、彼らの信条とは違う事を勧めます。
彼らにとっては背教行為を促しているようなものですが、
それでいいのです。彼らはサタンに惑わされています。

私たちの雑誌は読ませますが、私達は彼らの本を読む
気は全くないです。なぜなら私たちこそが真理だからです！

私はエホバの証人の一人としてひきつづき
この幸せな音信を全ての人に宣べ伝えていきたいです！
例え訪問拒否されても、一年後には必ず行きます！
エホバの業は素晴らしいです！！

アーメン！ 熱心 学

付録

幼稚園にも分かる 『エホバの証人の意識図解』

バージョン3.0

エホバの証人の世界観を
分かりやすく図で説明！

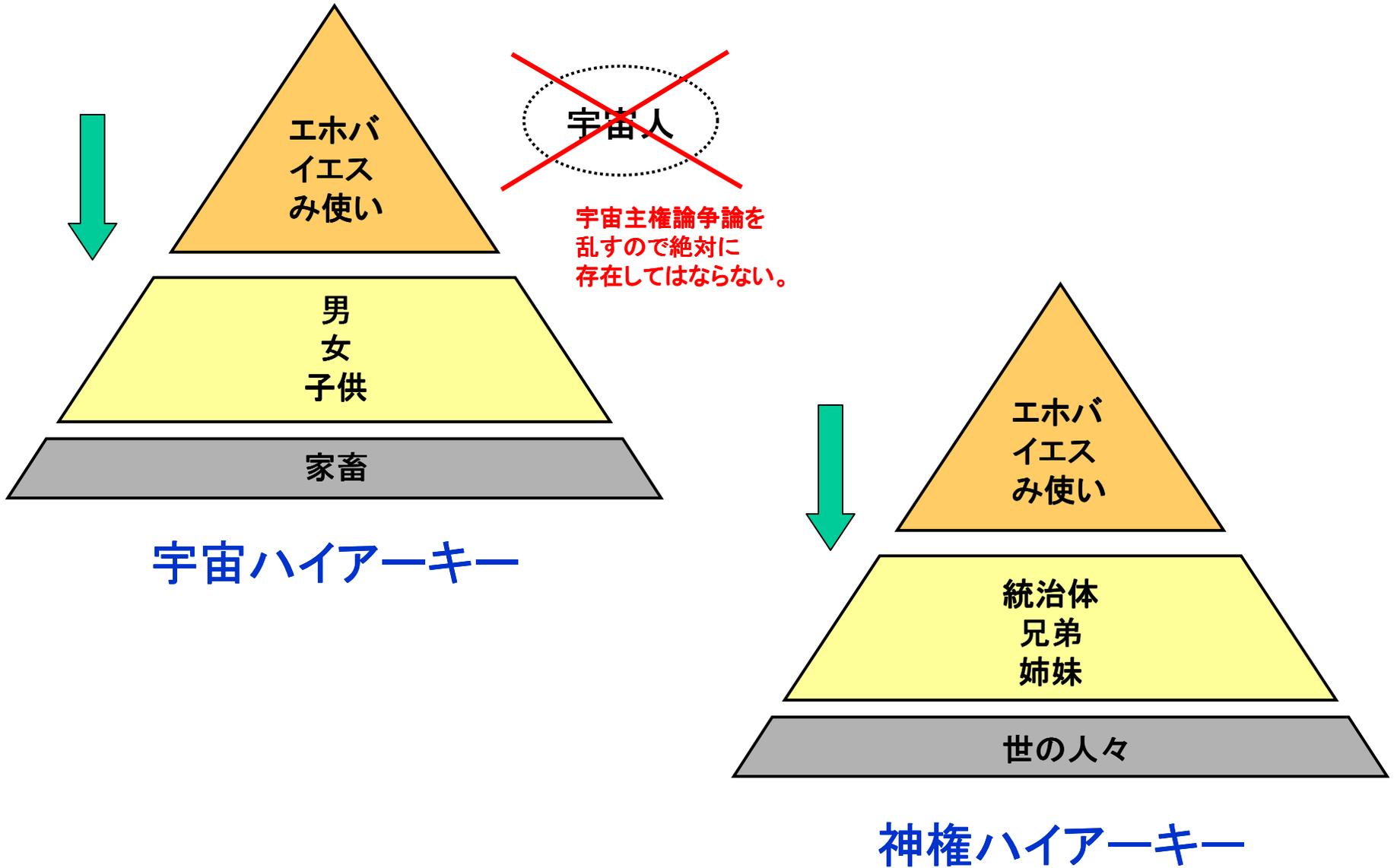
■ エホバの証人の世界観

世の人
(サタンの影響下にある人々)

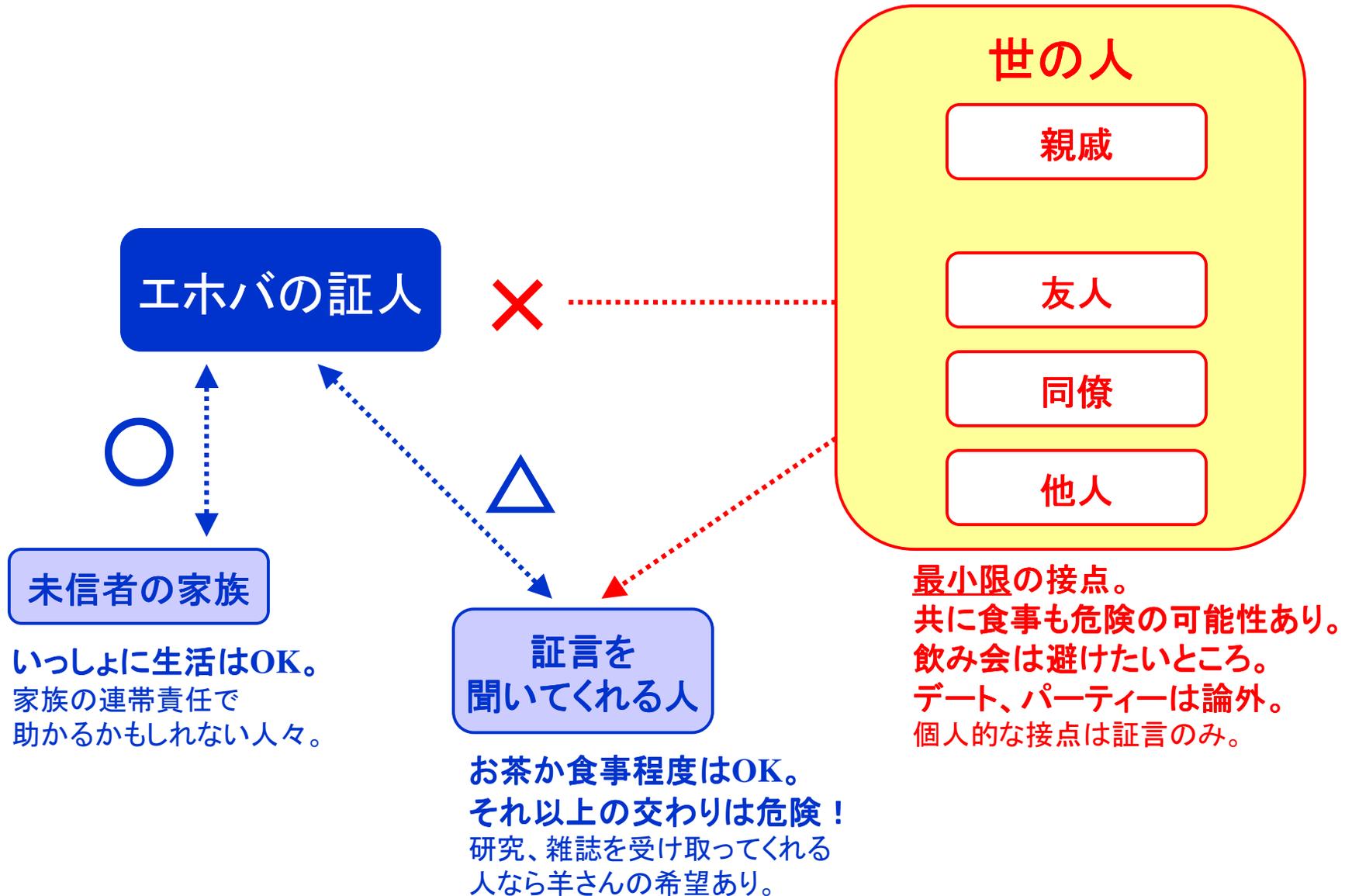
エホバの証人
(エホバに守られている選民)

上も下も右も左もサタンだらけ！！
全ては白黒に分けられた世界。

■エホバの証人からみたハイアーキー



■エホバの証人の交友関係



■エホバの証人の宗教観

エホバの証人 (真の宗教)

どの宗教にも属しません。
だってただ一つの真の宗教だから。

大いなるバビロン (サタンに惑わされている宗教)

カトリック

サタンの欺瞞の象徴。偶像崇拜と戦争と幼児虐待しかしていないだろ！

プロテスタント

組織とラッセルの根源がなんであれ、私たちはこの一派の一つでは断じてナイ！

ユダヤ教

イエスによって直接捨てられている宗教なので論外。どうせパリサイだろ？

イスラム教

良く分からないけどフセインの宗教？昔、ユダヤ教を真似た偽宗教の一派？

仏教・神道

悪い宗教ではないが、みんなどうせ考えてないで習慣でやっているだけ。

あやしい系

オウムや真光のようなカルトを指す。直接サタンと繋がっているっぽい。

創価学会

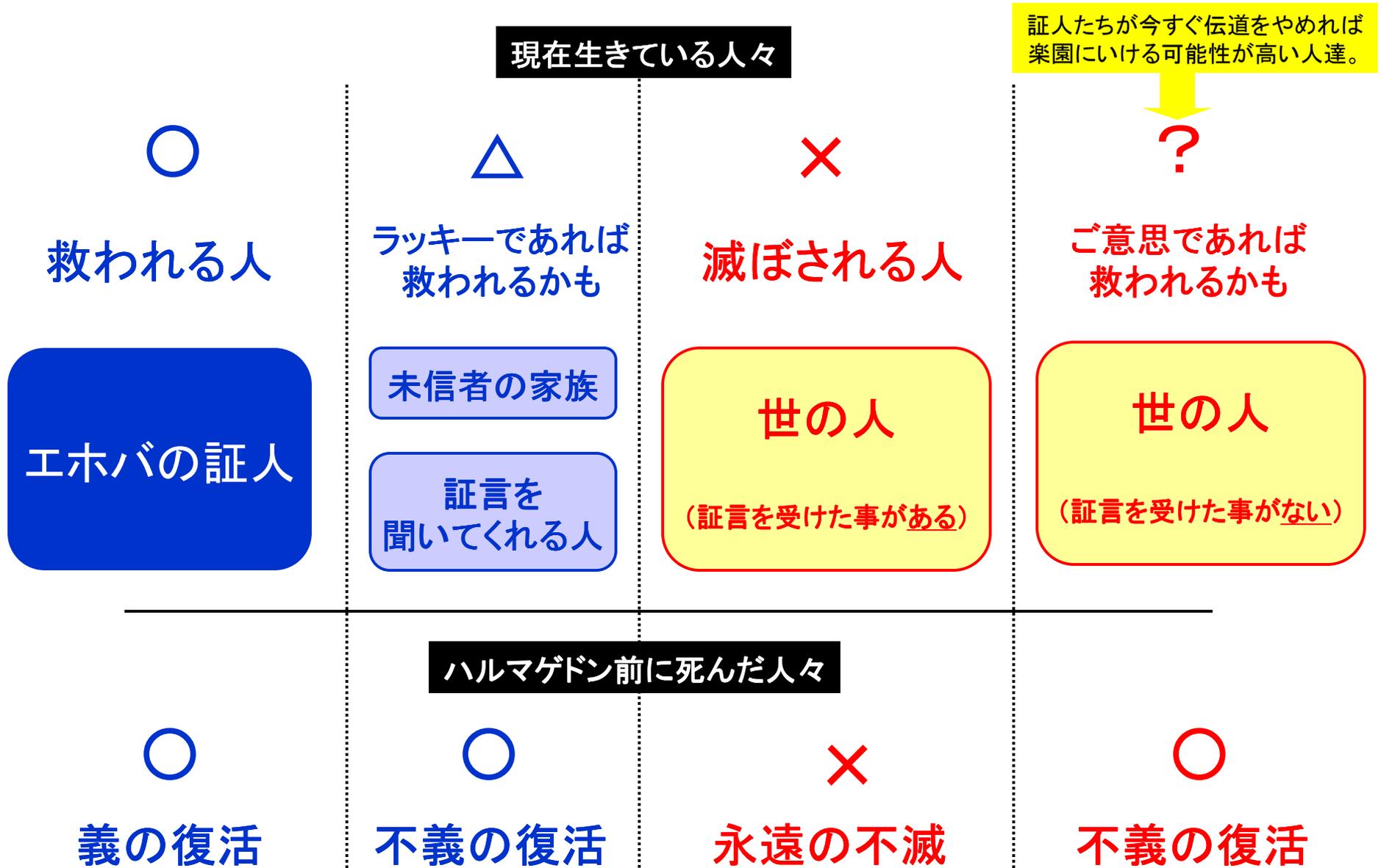
伝道でも以前は肩を張り合ったが今となっては敵ではない。 **比較されるので**

モルモン

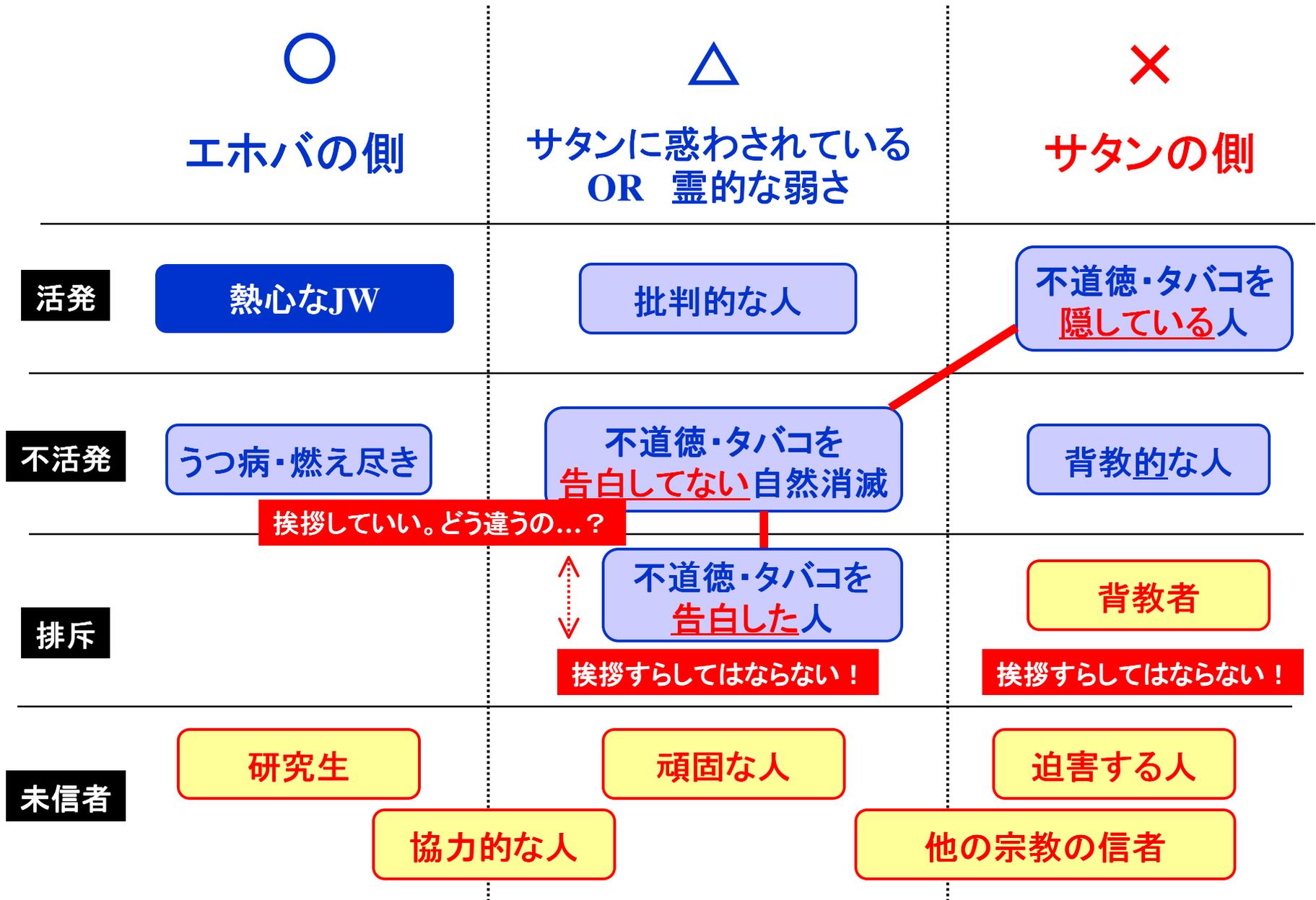
伝道といいながら彼らは英語をエサに勧誘するだけ。

ウザッ！

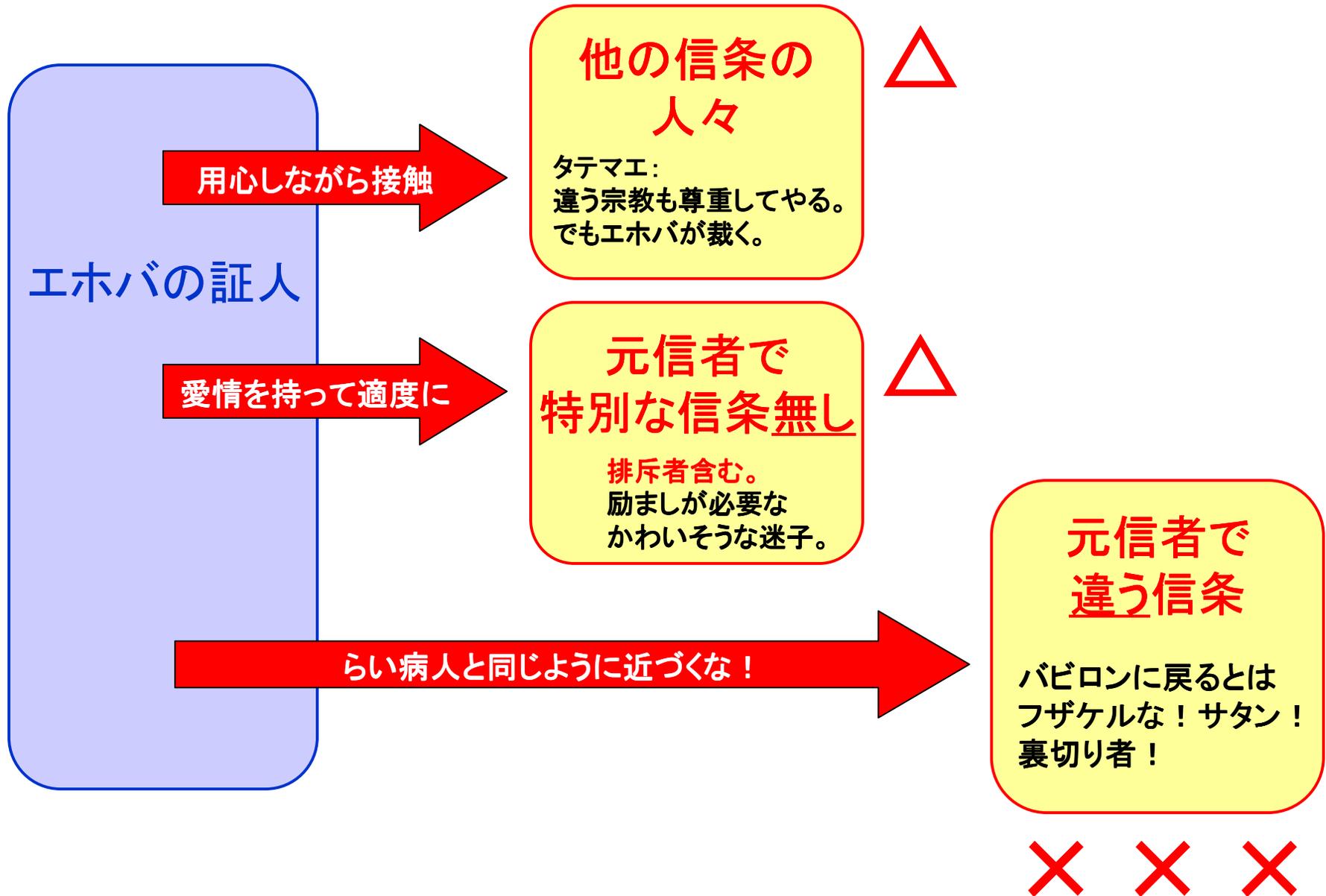
■ ハルマゲドンで誰が救われるのか



誰がサタンなのか 罪を告白した人が損する仕組み



■絶対に許せない奴は誰だ



■ 証人たちが利用してもよい資料

世の人に対する主張：

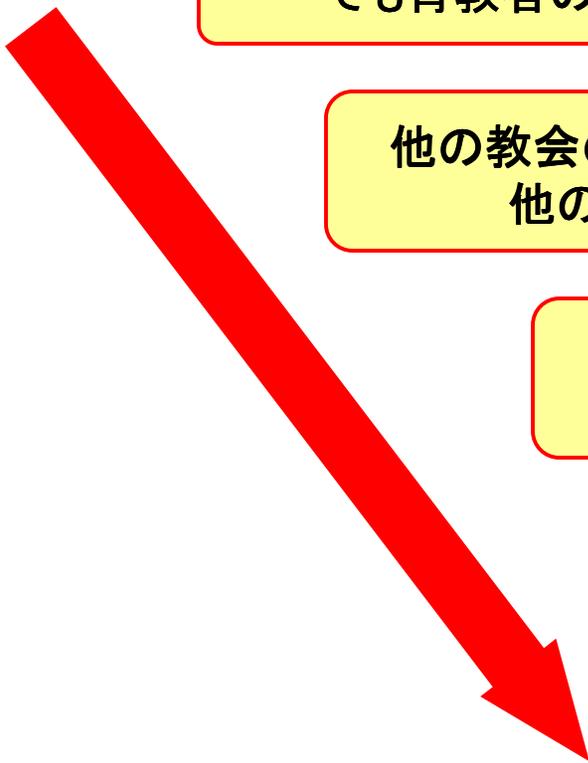
クリスチャンは自分たちの信仰を確証するために
あらゆる資料から調べるべきである。

でも背教者の本はアウトです。 ❌

他の教会の書籍は信頼できません。
他の聖書訳も含みます。 ❌

一般の世の人の本の内容は
信頼に値しません。 ❌

歴史、考古学に関して
個人の研究は必要ありません。 ❌



最初から組織の出版物だけ使え！
(最後までもね)

■ 証人たちの巧みな言葉遊び

建前：
聖書に書いてあることのみを信じています。

でも聖書に文字通り書いていない教理に関して
質問をされた時には、これらの言葉でかわします...

- ① ...という意味である。
- ② ...のようだという意味である。
- ③ ...には二重の意味がある。
- ④ ...と協会は**い**っている。
- ⑤ それは神のご意思の時に明らかにされる。
- ⑥ それは樂園に**い**かないと分からない。
- ⑦ そういう疑問はサタンだから**気**をつけよう。

■ どっちに転んでも真理



■ どっちに転んでも世の終わり



■ どっちに転んでも奉仕



■ どっちに転んでも奴隷級



■ どっちに転んでもサタンの罠

霊的でない

義に過ぎる

義を求めないのはサタンの罠。

行状

義に過ぎるとサタンの罠。

ニート

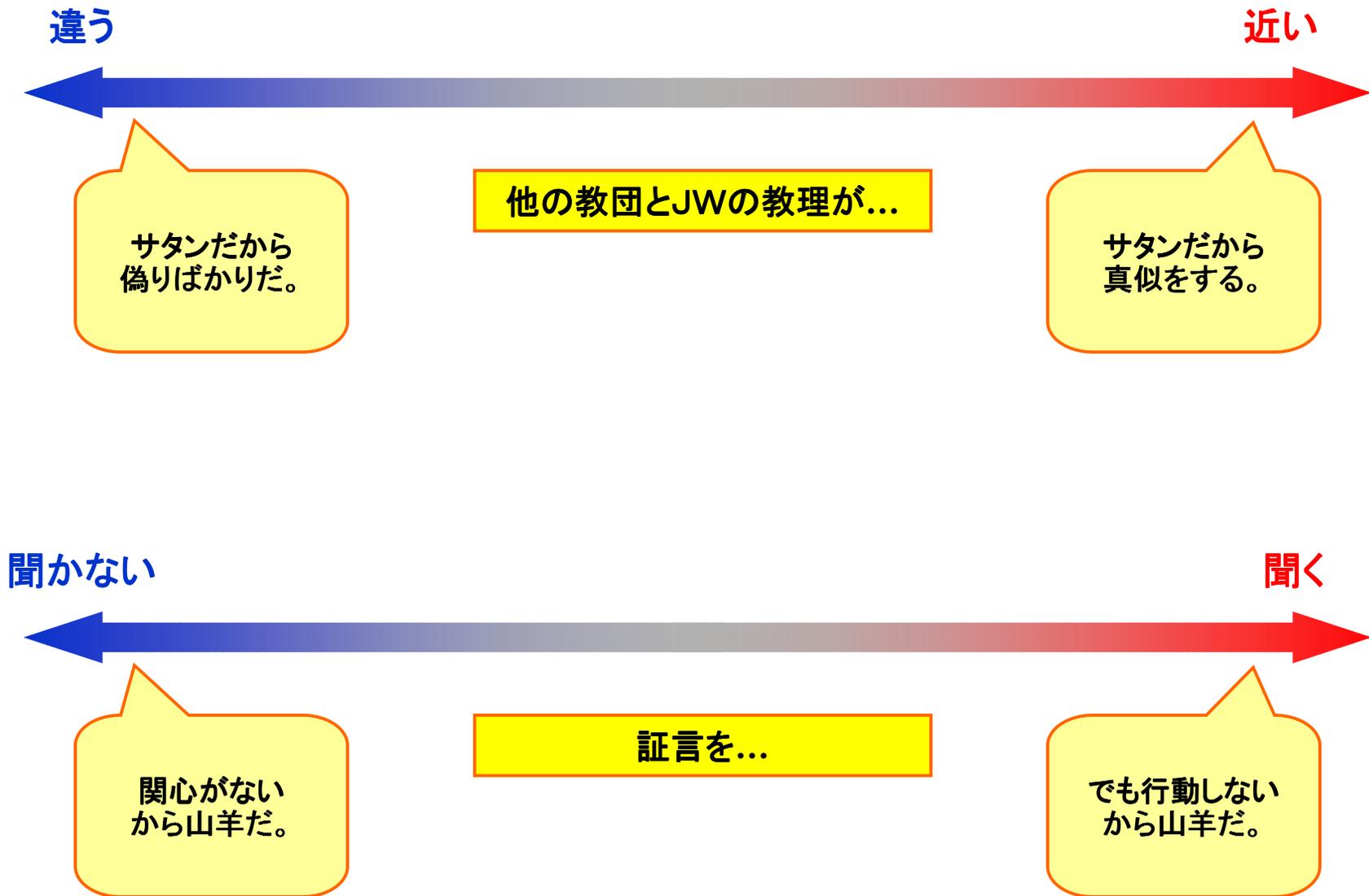
全時間

経済的圧迫はサタンの罠。

仕事

全時間の仕事もサタンの罠。

■ どっちに転んでもサタン



どこまでが良心の決定なのか

これらは組織の出版物に載っているから守れ。しかし...	絶対に守れ	良心の決定 (個人の決定)	組織は断定してない (特定の信者の暴走)
●輸血禁止。	●		
●部分的な輸血。			● どっちやねん! ?
●大人数のパーティー。			● 会衆によっては10名が良心の範囲のマックス。男女混合はアウトの場合も。
●乾杯、誕生日禁止。	●		
●結婚記念日。			●
●夫婦間セックスの体位。	○	→	● 一昔前までは正常位のみ。今でも快感に走ってはダメよ。
●マスターベーション禁止。	●		やるぐらいなら手をもぎとりなさい。
●1975年のハルマゲドン説。			● 現在の教理が変わったらあなたは後に出版物で、個人的に思い違いをしていたと宣言される。
●1914年から「1世代」解釈。			
●宗教の選択。	●	←	○
		未信者にはそういつている。しかし仲間になったら、宗教を変える奴はサタンである。	

■エホバの証人で子供を育てるメリット

メリット

子供に道徳を教えられる。
とても良い価値観である。



子供に集会・研究を通じて
勤勉さを教えられる。
マジメに勉強もする。



伝道を通じて救いの業に
携わることができる。
一番の社会貢献である。



自分なりの堅い信仰を持ち
しっかりと宣言する姿は
人として美しい。
世の人は信条すらないではないか。



デメリット

信者以外の子供たちを
世の人として裁くか見下す。
(クリスマスや誕生日をやってる
人達はサタンに騙されている。)

良い成績をとっても
大学に行くと王国第一で
ないといわれる。

大抵パートなので、大量に
フリーターとニートを生産。
社会貢献になっていない。
年金と保健払わない。

あくまでもエホバの証人の
信条であることが前提。
それ以外の信条の表明は
サタンである。お母さん泣くわよ！

■エホバの証人の一員であるメリット

メリット

世界中に仲間がいるので
どこにでも泊まれる
仲間がいる。

どこに引っ越しても友人が
できる。社交界のようなもの。

組織がやるべきことを
命令してくれるので楽である。
指示がなければ今頃毎日テレビ
ばかりの人生かもな...

組織に属していると
色々な特権があるので
自尊心を満たしてくれる。



デメリット

たんに厚かましい来客が
多いのはこのせいだろうか...

証人以外の人と社交すると
サタンの罠といわれる。

集会、伝道、予習以外の
活動をすると王国第一でない
と注意される。

組織の外の人々からは
全く評価されない。でも
世の人の評価なんてね...

■ 霊的存在の役割分担

エホバ



宇宙支配。ただし多くの領域でサタンに邪魔をされている。宇宙主権は人類が答えを出すまで保留中。聖霊を使う。全ての創造者だが今は休憩中。神の民を導びいておられるが現場監督はイエスである。証人たちのみへの祝福を行う。

イエス



天の王国を一時的に預かる。天の掃除を1914年に終えたので今は天的級との結婚式で忙しい。み使いの頭であると共に地上組織の頭でもあるが、イエスの名において長老たちが任命されることはない(汗)。たった一つの組織のみ運営。

み使い



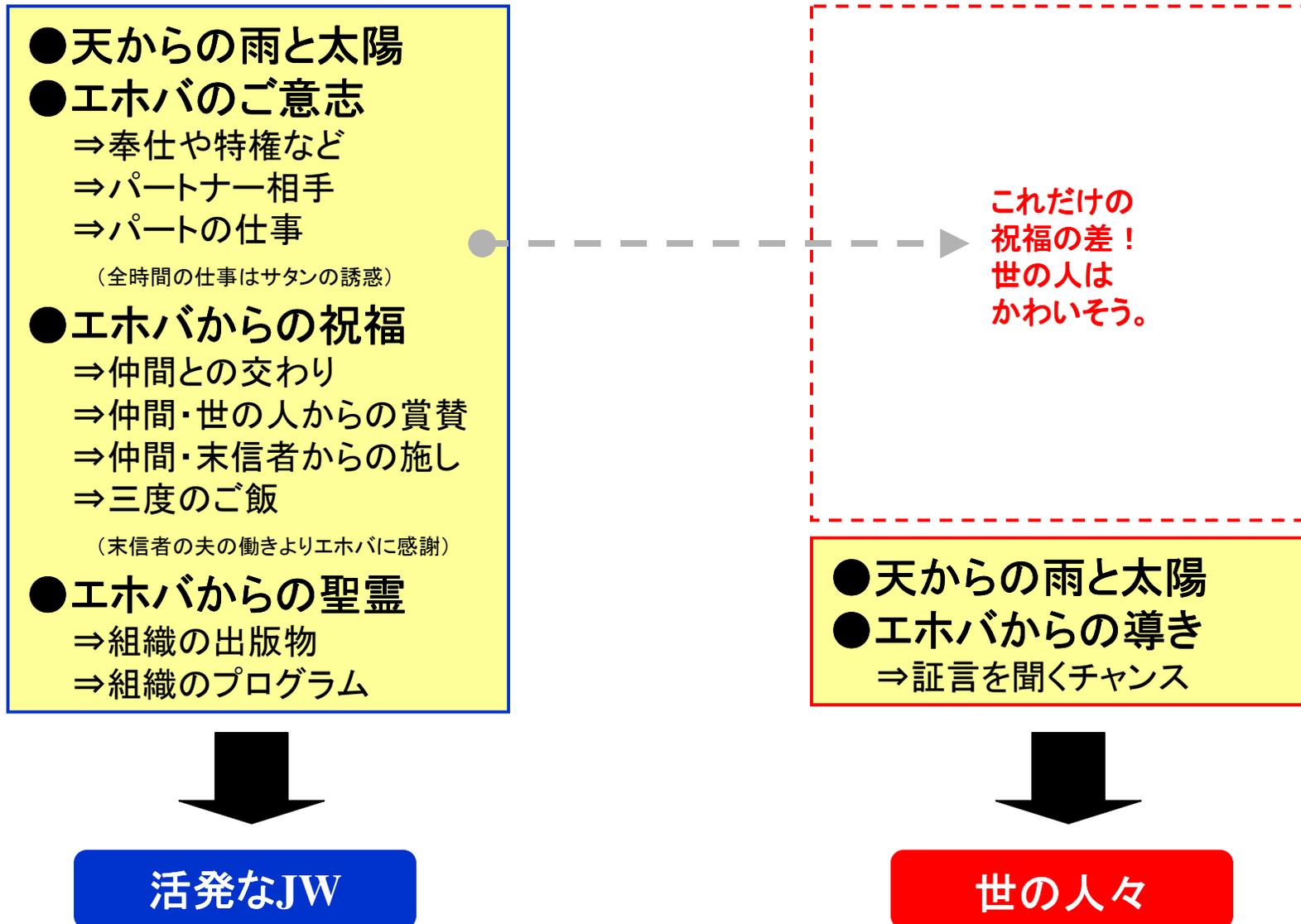
伝道のお手伝い。四方の風のせきとめる係り。今は「命の木」のガード係は免除。1914年に悪霊たちと戦い地上に落としたが、なぜか今でも地球上で常に戦わないといけないハメに...

サタンと悪霊



多分、宇宙の中で一番忙しくて活躍しているのはこの方たち。人類の99.9%以上を惑わしている。無数の宗教団体を運営。証人たちをもあの手この手を使って誘惑・妨害活動に専念。世の人たちを富ませたり女をあてがうのも彼らの仕事。

■エホバからの恵みは誰のもとへ？



■エホバから？サタンから？

お題目	エホバからの祝福	サタンの仕業
●奉仕時間が増えた。	●	
●特権が増えた。	●	
●仕事の収入が増えた。	●	
●仕事の残業が増えた。		● 奉仕時間が減るのであれば誘惑である。
●霊的仲間が増えた。	●	
●世の友達が増えた。		●
●交わりの機会が多くなった。		● 良い交わりでも個人研究の時間が減るのであれば問題。誘惑かも。
●うつ病・慢性疲労症候群。		●
●親のつきっきり看病。		● 奉仕時間、集会出席率が下がればサタンの可能性は大。あるいはたんに世の終わりのせいかも。
●事故にあった。		●
●姉妹から告白された。	●	
●世の女性から告白された。		● 証言して改宗させて結婚できればラッキー??
●iPODをもらった。		● 賛美の歌以外を入れるのであれば誘惑になりますよ。

■ 気になる世界情勢

気にならないニュース:

- 戦争、地震、飢饉、病気、犯罪の増加。
- 環境汚染。石油問題。リサイクル問題。
- 高齢化社会。少子化問題。

世の終わりだし、どうせ
ハルマゲドンがきて
解決してくれるさ。

気になるニュース:

- 年金問題、医療費高騰。もし世のおわりがすぐに来なかったらどうしよう...
- 二極化する経済。おいおい、パートの時間が増えるじゃないか...
- インターネットの普及。アンチJWの情報へアクセスしやすくなるのは問題。
- 国連の動き。世のおわりカウントダウン！

非常に困るニュース:

- JWの幼児虐待問題。サタンよ、捏造記事はやめてくれ！
- 地球に平和が訪れた。世のおわりを宣べ伝えているので困ります。

■ 世の終わりがきても恐くない？

世の終わりがきてもおばさん姉妹
たちは絶対に恐れません！

- 大患難と迫害の嵐。
- 政府の崩壊。
- 火による滅び。
- 疫病で人類が滅びる。
- エホバによる怒りの地震。



でも今ニュースでやっている
温暖化による都市水没は心配です...(汗)

ちなみに自力でハルマゲドンをサバイバルすると
思われる人種： ①オバタリアン ②クソガキ

■ 自分の救いのために奉仕を！

伝道は世の人を救うためにするものではありません。

なぜなら...

建前： 隣人愛のためにやっている。

実際： 留守宅のベルを押すのに忙しい。

建前： 好きだからやっている。

実際： 報告しないといけない最低の奉仕時間がある。

建前： 私たちが伝道をすることにより人々が救われる。

実際： 誰が救われるかを決めるのはエホバである。

建前： 音信を聞かないと人は救われる機会を逃す。

実際： 聞く機会がなければ不義の復活がある。

建前： 神の言葉である聖書を知らせる必要がある。

実際： 多くの人は聖書を持っています。本音は独自の出版物の配布。

建前： 全てはエホバのご意志である。

実際： 組織の都合による意志では？

従って、伝道は自分を救うために行うものです。

■ イエスの精神にみならう？

イエスが示した模範：
人類が救われるために自分だけが
死ねば良いと思った。

正反対

エホバの証人が思うこと：
自分たちだけは絶対に
パラダイスに入ってやる！！

- 人類が皆滅ぼされたとしても自分だけは生き残りたい。
- 家族が真理を離れても自分だけは絶対に残ってやる！
- 子供が真理を離れても子供の言い分は絶対に聞くな！
- 奉仕と集会を欠かすわけにはいかない！救われないから。
- もしハルマゲドンとパラダイスがこないのであれば、エホバの証人である理由は何なのか？と自問自答。
- でも配偶者がハルマゲドン前に亡くなるのは困ります。結婚できなくなってしまうので...(汗)

受けるに値しない
過分のご親切だった
はずでは...？

たとえば自分がハルマゲドンで滅ぼされても、純粹に宇宙主権だけの
ために奉仕をしている信者はどれくらいいるのだろうか？

■ 今の生活だけは絶対に変えたくない

私たちはエホバの証人の当然の義務として:

- 真理(真実)を愛しており真実を追求します。
- 真理のためなら死の迫害をも恐れません。
例え財産を没収されて、社会を敵にまわしてもです。
- 真理のためなら家族をも捨てます。
- 組織を清く保つためにいかなる不義をも放置しません。

でももし背教的文書を読んでしまって、組織とその真理の不正事実を知ってしまった場合、私たちはこう考えます:

- たとえ本当のことであったとしても見たくない。
- 自分はそれらの事実が気にならないので組織に確かめる必要はない。
- エホバが行動なさるので、自分が行動を起こす必要はない。
- 組織ではなくエホバに献身しているのは事実だがお世話になってきた組織を裏切ることはできない。良い教えも沢山あるではないか。
- 今ある家族や仲間との安泰な生活を変えたくない。

私たちの「真理」に対する献身度はその程度のものです。

この資料を読んで靈的に励まされたアナタ！
さあ、明日から靈的活動に励みましょう！
エホバからの祝福と導きがアナタと
アナタが所属している組織だけにありますように！
ハルマゲドンの時には人類が滅ぼされても
アナタだけは優先的に救われますように！
アーメン！！

熱心 学

真理 真からひとこと:

この資料を読んで学兄弟は極端だと思われた方も多と思います。しかし模範的なエホバの証人はこれらの考えを理想的な姿とします。もし大げさだと思うのであれば組織に聞いてみてください。模範解答がでてきます。**エホバの証人を含む「原理主義者」たちは全てに白黒をつけたがります。すなわち真ん中のグレイはありません。従ってバランスをとることは不可能な人々なのです。**もしバランスをとっていると主張する証人がいれば、その証人は厳密には一字一句従うべき聖書の教えにさじ加減(妥協)を加えていることになります。ですから本来は、世の中での生活との折り合いがつかなくなってしまう人々なのです。

アメリカという国が常に極端でドラスティックな行動をとるのも WASP(アングロサクソンのプロテスタント)によるところが大きいです。もともとイギリスの国教に「プロテスト(抗議する)」して国を出てきたのがプロテスタントです。ですから禁酒令、たばこ・毛皮排除活動、非キリスト教諸国の爆撃を平気で行います。キリストの名において多くのインディアンが虐殺されてきました。

もしかしたらあなたもエホバの名において心の中で多くの人々を裁いていませんか？心のどこかで「どうせ世の人だから」と見下していませんか？イエスはいわれました。「人を裁く基準で自らも裁かれる」と。蒔いたものは買い取ります。そういった意味で社会の人々をサタン呼ばわりする宗教団体は迫害されても仕方ないといえます。**あなたが迫害を受ける時、それはエホバの義のためですか？それとも自分の義のためですか？**

最後に...⇒

最後にヒント

害となるカルトチックな宗教の見分け方:

- **自分たちの教団だけが**救われて、他の教団は救いに値しないといいきっていないか。
- **絶対権威**を主張する教祖や団体が上にいないか。
- 自分たちだけが聖典の**唯一の正しい解釈論**を持っていると主張していないか。
- **救われるために**寄付金やボランティア活動等の引き換えが求められないか。
- 信者になった後に、本人の意思により仲間からののしられる事なく**平和に脱会**する事が可能か。

これらに該当するものがあったら走って逃げましょう。 そして...⇒

エホバの証人に聞ける究極の質問:

- 参考書がないと理解できない不完全な聖書をなぜエホバはわざわざ人類に与えたのか。
- 西暦前607年の考古学的根拠を証明してほしい。
- 当時他のバビロンと同じようにクリスマス、たばこ、誕生日をやっていたにもかかわらず、ものみの塔だけがなぜ1919年に洗練されて選ばれたのか教えてほしい。
- 奴隷級が唯一つの神の経路である客観的な証拠を提示してほしい。(予言は常に外れ、真理である教理は常に変更されているが...)
- 聖書には自分の理解に頼ってはならないとあるが、あなたは誰の理解に頼って組織を信じているのだろうか。

これらに対して有益な答えが返ってきたらぜひ「JW解約」サイトの掲示板に書き込んでください！ 真。